

# 令和元年度 事業報告書

平成31年1月1日から令和元年12月31日まで

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会

## 1 事業の成果

### ◎食の安全と安心に関する研究の推進（共同研究）

1. 「食品の健康リスクに関する研究」東京大学（桑原正貴）、SFSS山崎 50万円 継続中

### ◎食の安全と安心に関する学術啓発活動（SFSS：NPO食の安全と安心を科学する会）

- ①食の安全と安心フォーラム第16回（1/27）@東大中島董一郎ホール  
テーマ「HACCP 制度化など食品安全の国際化に必要なことは？  
～殺菌の同等性評価と新規殺菌手法の現状および課題～」  
主催：SFSS、後援：東大食の安全RC
- ②食のリスクコミュニケーションフォーラム（4/21、6/23、8/25、10/27）@東大中島董一郎ホール  
テーマ「消費者市民の安全・安心につながる食のリスクとは」  
主催：SFSS、後援：消費者庁、東大食の安全RC、  
（一社）食品品質プロフェッショナルズ、日本生活協同組合連合会
- ③静岡県立大学ジャーナリズム公開講座（3/28）@B-nest  
テーマ「食の安全・安心」はリスクの大小を比較することから」主催：静岡県立大学
- ④食の安全と安心フォーラム第17回（7/28）@東大中島董一郎ホール  
テーマ「食物アレルギーのリスク管理と低減化策に関するフォーラム・IV」  
主催：SFSS、後援：東大食の安全RC
- ⑤夏休み2019 宿題☆自由研究 大作戦（7/30）@東京流通センター  
わくわく教室◎本当に知ってる？加工食品のいろいろ／ステージ1『食品添加物のおはなし』  
主催：日本能率協会、後援：東京都公立小学校長会、協賛：（一社）日本即席食品工業協会
- ⑥日本食品安全協会公開講演会（8/8）@慶應義塾大学 薬学部2号館251号室  
テーマ「食の安全・安心に係るフェイクニュースを斬る！」  
主催：一般社団法人日本食品安全協会、共催：消費者庁
- ⑦第66回日本栄養改善学会学術総会（9/6）@富山国際会議場  
テーマ「食品添加物のリスクについて～食の安全・安心はリスクの大小を比較することから～」  
主催：日本栄養改善学会、共催：（一社）日本即席食品工業協会
- ⑧徳島県消費者大学校大学院（消費者庁との共催）（9/10～10/8）@とくぎんトモニプラザ  
「食品安全リスクコミュニケーター養成・食品表示コース」  
\*運営をSFSS が受託、山崎理事長が講義も1コマ実施（10/1）
- ⑨食肉情報等普及・啓発事業 お肉のトーク2019～食べて学ぼう！食肉の安全性と機能性～（11/3）  
@関テレアトリウム 扇町スクエア・インタラクティブエリア  
主催：SFSS、後援：公益社団法人日本食肉協議会

### ◎食の安全と安心に関わる中立的情報公開（詳細はこちら⇒ <http://www.nposfss.com/>）

- ①季刊誌：1月（冬号）、4月（春号）、8月（夏号）、10月（秋号）発行済み。  
編集長：山崎、編集委員：芦内、守山、若林、miruhana
- ②メルマガ：山崎から毎月1～2回のご案内メール配信（配信先：約2000名）
- ③ホームページ：活動予定、活動報告の逐次更新。理事長雑感毎月更新。食の安全・安心Q&A  
編集長：山崎、編集委員：守山、miruhana
- ④ツイッター：ツイBOTで活動告知・食の安全安心情報等を毎日発信（1000件/月、35万PV/月）。  
編集長：山崎、編集委員：miruhana
- ⑤メディアむけ情報提供：  
1/27 月刊HACCP 3月号 「食の安全と安心フォーラム16」取材記事  
2/13 日本食糧新聞「食品添加物に関する週刊誌報道をSFSSがファクトチェック」  
7/22 週刊教育資料◎潮流「科学的なエビデンスのある安全・安心に」  
8/23 BS テレビ東京「日経プラス10」8/23（金）22:00～生出演  
『食の安全最前線・食品洗浄の先端技術に迫る』山崎理事長にインタビュー

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
食の安全と安心に関する研究の推進	食の安全と安心に関する研究を1テーマ採択し研究助成した。	上記「1. 事業の成果」のとおり、4月より継続。	東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター	3人	受益対象：生活者全般、食品関連企業および研究機関 人数：不特定多数	1,002
食の安全と安心に関する学術啓発活動	シンポジウム、フォーラム、研修会等の開催、運営、およびその広報活動を実施した。	1/27, 3/28 4/21, 6/23 8/25, 10/27 7/28, 7/30 8/8, 9/6 10/1, 11/3	東京大学農学部、静岡県立大学、東京流通センター、慶應義塾大学、富山国際会議場、とくぎんトモニプラザ、関西テレビ扇町スクエア（大阪市）	40人	受益対象：生活者全般、食品関連企業および研究機関 人数：800人	4,358
食の安全と安心に関わる中立的情報公開	ホームページを構築・管理し、広報活動を実施。季刊誌・メルマガを定期的に発行した。	上記「1. 事業の成果」のとおり、1年を通して継続	NPO事務局（東京、大阪）	12人	受益対象：生活者全般、食品関連企業および研究機関 人数：不特定多数	1,111

## 令和元年度 活動計算書

平成31年1月1日から令和元年12月31日まで

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会  
(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員・賛助会員、入会金	22,000	
正会員・賛助会員、受取会費	5,405,000	
受取会費計		5,427,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	370,000	
施設等受入評価益	0	
受取寄附金計		370,000
3 受取助成金等		
受取補助金	3,250,000	
受取助成金計		3,250,000
4 事業収益		
シンポジウム広告賛助金	150,000	
シンポジウム参加費	709,000	
業務受託費	2,039,800	
事業収益計		2,898,800
5 その他収益		
受取利息(普通預金)	17	
その他収益計		17
経常収益計		11,945,817
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
シンポジウム講師料	1,506,000	
人件費計		1,506,000
(2) その他経費		
共同研究費	1,002,000	
シンポジウム会場費	192,000	
シンポジウム運営費(抄録集 他)	2,560,404	
寄付金支出	100,000	
広報費(HP、季刊誌制作費)	1,111,194	
その他経費計		4,965,598
事業費計		6,471,598
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当、福利厚生費	1,587,000	
人件費計		1,587,000
(2) その他経費		
消耗品費	367,018	
通信運搬費	214,295	
地代家賃	1,248,000	
旅費交通費	793,447	
会議費(飲食費)接待交際費	595,584	
税金(講師料源泉徴収税)	51,168	
銀行手数料(振込みなど)	30,728	
雑費	8,240	
その他経費計		3,308,480
管理費計		4,895,480
経常費用計		11,367,078
当期経常増減額		578,739
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		578,739
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		578,739
前期繰越正味財産額		1,116,591
次期繰越正味財産額		1,695,330

## 令和元年度 貸借対照表

令和元年12月31日現在

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,695,330		
未収金	0		
流動資産合計		1,695,330	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
敷金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,695,330
II 負債の部			
1 流動負債	0		
未払金	0		
.....			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,116,591	
当期正味財産増減額		578,739	
正味財産合計			1,695,330
負債及び正味財産合計			1,695,330